

第92回生体制御学セミナー

マイクロプラスチックの生物 への毒性影響について ～有害化学物質曝露の原因となりうるのか～

田中 厚資 博士

国立環境研究所 研究員

日時：2025年9月24日（水）

13：00～14：30

場所：理一1番教室

近年、マイクロプラスチックと呼ばれる粒径5 mm未満のプラスチック粒子が環境中に広く存在することが明らかとなり、生態系やヒトへの影響の懸念が高まっています。マイクロプラスチックには、環境中での吸着や製造時の添加によりさまざまな化学物質が含まれており、摂食した生物への毒性影響の可能性が考えられています。しかし、プラスチックから生物への化学物質曝露が環境中で本当に起きているのか、分野の中でも見解が分かれ、議論が続いています。

本セミナーでは、海洋生物によるマイクロプラスチックの摂食や、それに伴う化学物質曝露の可能性について、発表者のこれまで行ってきた海鳥を対象とした研究を含め、先端的な知見までを解説します。加えて、マイクロプラスチックの発生源として重要なプラスチックの劣化・微細化プロセスの研究、さらに小さいナノプラスチック（粒径1 μm 未満）の環境中存在実態把握に向けた研究の動向についても紹介します。

問い合わせ先：塚原 伸治（内）796168、stsuka@mail.saitama-u.ac.jp